

キトキトとやまを食べてよう!



第7号

# 新川水土里たより

新川農林振興センター  
農業農村整備広報・広聴連絡会  
〒937-0863 魚津市新宿10-7  
電話(0765)22-9137【指導課】



郷土の水環境について発表する「くろべ水の少年団」

市内の小学5、6年生で結成されている「くろべ水の少年団」による活動発表、タレントの大桃美代子さんによる記念講演がありました。午後、愛本堰堤や生地湧水群などの現地を見学し、十二貫野湖周辺では参加者全員で記念植樹を行いました。

アンケートでは、参加者の9割から良かったとの回答があり、「黒部川の偉大さ、先人の素晴らしさを改めて認識した」、「子ども達や大桃さんの講演が素晴らしいかった」、「同じ県内



十二貫野湖周辺で記念植樹をする参加者

10月19日(火)黒部市宇奈月国際会館セレンネにおいて、「とやま農業用水を育む集い2010in黒部」を開催しました。

当日は約580名の参加があり、午前、土地改良区の知事表彰、黒部

でも普段行くことがない所を説明付きで見学できるとても良かった」、「次回も参加したい」、「今後も続けて下さ

【指導課 指導班】

## 「農業用水の恩恵を再認識」 県内各地から580名が参加



右岸沈砂池全景

この合同用水は、黒部川に設置された愛本堰堤より取水されますが、水には土砂が混じっています。その土砂が水路に流入するのを防ぐため、堰堤下流の左右岸に沈砂池が設けられています。



改修のため、取り外された入口制水ゲート(幅約4m、高さ約3m)

### 黒部川合口用水 右岸沈砂池 78年ぶりの大補修工事スタート!

11月16日(火)から、ストックマネジメント事業黒部川合口地区では黒部川合口用水の右岸沈砂池(黒部市宇奈月町中ノ口地内)の補修工事が始まりました。

黒部川合口用水は、黒部市、入善町、朝日町の農地約7500haをかんがいする県内屈指の主要な農業用水です。

この合同用水は、黒部川に設置された愛本堰堤より取水されますが、水には土砂が混じっています。その土砂が水路に流入するのを防ぐため、堰堤下流の左右岸に沈砂池が設けられています。

沈砂池は昭和7年に建設されましたが、老朽化により、コンクリート構造物の劣化や水門等が腐食し、維持管理が困難な状況となつてきました。

本年度は右岸沈砂池のコンクリート補修及び水門の改修を行い、次年度以降、左岸沈砂池のコンクリート補修、水門改修及び遠隔操作システムの更新を行う予定としています。

※右岸沈砂池の工事に伴い、今後は3月中旬に10日間ほど、入善町及び朝日町の一部で農業用水が断水することになります。

【農村整備課 水利防災班】

愛本新用水土地改良区は、受益面積369ha、組合員数590名からなっています。黒部川の水を宇奈月ダムから取水しており、入善町舟見、黒部市宇奈月町愛本新などの水田を潤しています。

取水された水は、関西電力愛本発電所の水槽から運搬されています。昨今の化石燃料資源の枯渇化、地球温暖化の問題を背景に、再生可能エネルギーとして小水力発電は全国的に注目を集めています。

愛本新発電所は、当土地改良区管内は、黒部川から見ると段丘の上にある台地で、農民は水不足で稲作に苦労してきた歴史があります。水不足を解消しようと、十村役の伊東彦四郎が用水の開削に取掛かり、享和2年(1802年)に水路が完成しました。黒部川から初めて水を入れた日、日が暮れてきたが水が流れてこない、民たちは手にたいまつを持って水を迎えに行ったといわれています。

この喜びを後世に伝えようと、用水宮(天満宮)が建てられ、今も秋になると大たいまつを奉納するお祭が行われています。

先人が大切に築き上げてきた愛本新用水を守っていきけるよう、用排水路等の農業用施設の維持管理に努めていきます。

【技術員 大家 誠】

### 土地改良区紹介 愛本新用水土地改良区

「太陽は東から昇る」ように、新川は常に本県農業の先導的役割を担ってきております。先人達が英知を結集して創出した美田と、全国に名声をさせたコシヒカリの安定栽培技術は、他に類を見ない取り組みであったと確信しております。また、見渡す限り整然と整えられた圃場は、かつて「ザル田」と言われ、冷水の影響等から米の生産量は10ヶ当たり250kg程度の低収地帯でありました。それを克服するため6000畝の圃場を10

### 新川は本県農業の羅針盤

「黒部の太陽」と酷似した壮絶な戦いであり、圃場1筆毎に「すき床」まで掘り起こし、木桶を継ぎ足し均一に泥水が導き出されるように苦労された姿が浮かんできます。その結果、10ヶ当たり収量は県内トップクラスの550kgと生産が安定しています。

また、県内の9割以上で作付けされているコシヒカリではありませんが、入善町の一人の篤農家が

### 新規地区紹介 若栗北部地区

今年度、経営体育成基盤整備事業若栗北部地区(黒部市)が事業採択されました。

当地区の用排水路は、昭和40年代、50年代にかけ、県営ほ場整備事業が若栗地区にて整備されましたが、老朽化が進み漏水等で維持管理に多大な労力を費やしています。

これらを解消するため用水路中心の施設整備を行います。(12月22日、27日)

【農村整備課 農地整備第二班】

昭和36年に新潟県より種子を持ち込んだのがきっかけであります。当時、質より量の時代で「味は良いが倒れ易く機械化には不向き」と敬遠されたのをV字型稲作理論と結びつけ、10年の歳月による調査・研究のもと昭和47年に念願であった県奨励品種に採用され、富山ブランドとして不動の地位を誇っております。正に、農業土木事業と普及事業が一体となって成し得た偉業であり、今後とも、この歴史に学び農業者と関係機関が一体となって、新川の農業振興が図られるものと期待して

イベント情報

開催告知

◎「第6回とやまの棚田写真展」広報展

開催日：1月11日(火)～1月25日(火)

開催場所：入善町まちなか交流施設 うるおい館

◎「第22回富山県農村振興技術連盟写真展」

開催日：2月7日(火)～2月10日(木)

開催場所：魚津総合庁舎1階

イベント情報

開催告知

◎「第6回とやまの棚田写真展」広報展

開催日：1月11日(火)～1月25日(火)

開催場所：入善町まちなか交流施設 うるおい館

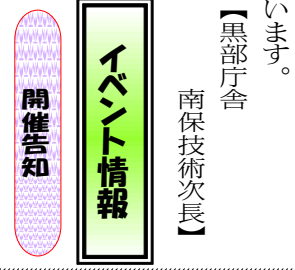
◎「第22回富山県農村振興技術連盟写真展」

開催日：2月7日(火)～2月10日(木)

開催場所：魚津総合庁舎1階

### 編集後記

今年も残すところ、後わずかなりました。現場に行く時は晴れていてほしいと思いつつも、なかなか晴れてはくれませんが、雨や雪が降り寒い日が多くなりますが、体調管理には十分に気をつけたいと思います。



改修予定の用水路(自地が切れ漏水が著しい)



改修予定の用水路(自地が切れ漏水が著しい)

イベント情報

開催告知

◎「第6回とやまの棚田写真展」広報展

開催日：1月11日(火)～1月25日(火)

開催場所：入善町まちなか交流施設 うるおい館

◎「第22回富山県農村振興技術連盟写真展」

開催日：2月7日(火)～2月10日(木)

開催場所：魚津総合庁舎1階